

今冬期の大雪等による被害状況等について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

平成 29 年 2 月 8 日
15 時 00 分 現在
内 閣 府

1 気象状況（気象庁調べ）

(1) 今冬期（11月～1月）の雪の状況

- ・11月～1月上旬は、冬型の気圧配置が長続きせず、北海道の一部を除いて日本海側の降雪量は全国的に少ない状態が続いた。1月中旬以降は、冬型の気圧配置が強く、全国的に強い寒気が流れ込んだため、日本海側では東北地方から山陰にかけて大雪となったほか、太平洋側でも大雪となった所があった。1月31日までの累積降雪量は、本州の山沿いと西日本で平年並～多い傾向、そのほかは地点によりばらつきもあるが少ない傾向となっている。

(2) 積雪の観測値（11月～1月）

- ・期間中の道府県ごとの積雪深最大地点を抽出し、降順に並べ替えた上位10位

酸ヶ湯（すかゆ）（青森県青森市）	275cm	
肘折（ひじおり）（山形県大蔵村）	272cm	平年比 109%
大山（だいせん）（鳥取県大山町）	241cm	平年比 183%
津南（つなん）（新潟県津南町）	224cm	平年比 97%
桧枝岐（ひのえまた）（福島県桧枝岐村）	222cm	平年比 136%
藤原（ふじわら）（群馬県みなかみ町）	209cm	平年比 127%
野沢温泉（のざわおんせん）（長野県野沢温泉村）	185cm	平年比 102%
朱鞠内（しゅまりない）（北海道幌加内町）	182cm	平年比 91%
兎野高原（うわのこうげん）（兵庫県香美町）	168cm	
白川（しらかわ）（岐阜県白川村）	164cm	平年比 109%

※気象庁アメダス（323か所）から抽出。

※平年比：平年値（1981年から2010年までの30年間のデータを平均した値）との比。

2 人的・物的被害等の状況（消防庁調べ：2月8日15:00現在）

○主な被害及び災害対策本部の設置状況（概数）

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害		災対本部	
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共施設	その他	都道府県	市区町村
	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟		
北海道	8		42	69									
青森	2		9	16									
岩手	1		5	5									
宮城			2										
秋田	4		33	38			1	1	5		7		
山形	2		54	15			1		4	1	9		
福島	4		6	25									
栃木			1	1									
群馬			1	4									
埼玉				1							1		
新潟	5		37	41			5		3		8		
富山	2		2	6									
石川			2	1									
福井			2	5									
長野	5		15	26			1				1		
岐阜			9	13			1	1	1		2		1
愛知													2
三重			3	41			39				7	2	7
滋賀				4							1		
京都	1						4				4		
大阪							1						
兵庫				3			52				15		2
鳥取	1		5	12			6				11	1	3
島根				1			4				1		
岡山	2		3				1				5		
愛媛													6
合計	37		231	327			116	2	13	1	72	3	21

※ 平成28年11月～平成29年1月末までに発生したものを集計

※ 表中の死傷者数は、交通事故及び転倒によるものを含まない。（ただし、除雪作業中のものは含む。）

※ 表中の災対本部は災害対策基本法に基づき設置されたもので、既に解散したものを含む。

<<死者の概要>>

死亡状況	65歳未満	65歳以上	合計
雪崩による死者	1	1	2
屋根の雪下ろし等、除雪作業中の死者	11	20	31
落雪による死者		3	3
倒壊した家屋の下敷きによる死者		1	1
その他			
合計	12	25	37

3 その他の状況

(1) ライフラインの状況

ア 電力（経済産業省調べ：2月8日14:00現在）

- ・被害情報なし

イ 一般ガス（経済産業省調べ：2月8日14:00現在）

- ・被害情報なし

ウ 水道（厚生労働省調べ：2月8日15:00現在）

- ・断水戸数： 0戸

(2) 道 路（国土交通省調べ：2月8日13:00現在）

ア 高速道路

- ・被災・積雪等による通行規制：なし

イ 直轄国道

- ・被災・積雪等による通行規制：なし

ウ 公社有料・指定都市高速

- ・被災・積雪等による通行規制：なし

エ 補助国道

- ・被災・積雪等による通行規制：なし

オ 都道府県道、政令市道

- ・被災・積雪等による通行規制：なし

<<参考：災害対策基本法に基づく区間指定実績>>

道路全体： 10区間

高速道路： 5区間

直轄国道： 4区間

補助国道： 1区間

【11月24日】国道1号

【1月11日～16日】北陸自動車道、関越自動車道、上信越自動車道、国道25号、161号

【1月23日～25日】米子自動車道、鳥取自動車道、国道53号、373号

(3) 交通機関（国土交通省情報：2月8日13:00現在）

ア 鉄道

(7) 運行状況

- ・新幹線の状況：運転休止線区なし
- ・在来線の状況：1事業者1路線 運転休止

イ 自動車関係

- (7) 高速バス関係：運休なし
- (1) 路線バス関係：運休なし

ウ 航空関係

- ・欠航便なし

エ 海事関係

- ・欠航便なし

(4) 土砂災害（国土交通省調べ：2月8日13:00現在）

ア 土砂災害発生状況（2件：2県）

○土石流等（1件：1県）

都道府県名	市町村名	人的被害			建物被害				公共被害状況等
		死者	行方不明者	負傷者	人家			非住家	
					全壊	半壊	一部損壊		
富山県	1件 南砺市 1件	-	-	-	2戸	-	-	7戸	県道上百瀬島地線へ土砂流出
合計	1件	名	名	名	2戸	戸	戸	7戸	

○がけ崩れ（1件：1県）

都道府県名	市町村名	人的被害			建物被害				公共被害状況等
		死者	行方不明者	負傷者	人家			非住家	
					全壊	半壊	一部損壊		
鳥取県	1件 米子市 1件	-	-	-	-	-	-	-	
合計	1件	名	名	名	戸	戸	戸	戸	

《富山県南砺市利賀村上百瀬で発生した土砂災害》

- ・1月16日15:30頃に富山県南砺市利賀村上百瀬地内で土砂災害が発生。
- ・20日0:20頃に再び土砂流出が発生し、家屋9棟が破損。県道上百瀬島地線^{かみももせしまじ}に土砂が流出し通行止め（通行規制されていたが地区住民は例外的に通行可）。
- ・富山県は県道の土砂撤去等を行い、29日13時に暫定迂回路開通（7～19時：一般通行可）。引き続き24時間一般通行可能な迂回路を整備中。
- ・北陸地整は、南砺市にリエゾンのべ23人・日を派遣（1/20～）し情報収集を行うとともに、現地に衛星通信車、照明車、Ku-SAT、超高感度カメラを設置し監視体制確保。映像を富山県、南砺市に配信。
- ・土木研究所は、富山県からの要請により土砂災害専門家のべ14人・日を派遣（1/18～）し、助言等を実施。
- ・2月6日に災害関連緊急砂防事業の採択が決定。速やかに排水路工事及びブロック製作工事に着手予定。

(5) 雪崩（国土交通省調べ：2月8日13:00現在）

- ・1月31日午前10時頃、山形県北村山郡大石田町において雪崩が発生、人的・人家被害なし。

(6) 農林水産関係（農林水産省調べ：2月7日12:00現在）

区分	主な被害	被害数	被害額 (億円)	被害地域 (現在19府県より報告あり)
農作物等	農作物等	18ha	0.4	秋田、山形、福島、群馬、新潟、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山、鳥取
	樹体	419ha	0.1	山形、長野、新潟、滋賀、京都、兵庫
	家畜	993頭羽	0.0	三重、兵庫、鳥取
	生乳	3トン	0.0	鳥取
	農業用ハウス等	3,760件	11.0	岩手、秋田、山形、福島、群馬、長野、新潟、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島
	畜舎等	95件	1.7	秋田、山形、新潟、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、兵庫、鳥取、島根、広島
	共同利用施設	8件	0.2	鳥取
小計			13.4	
用施設関係	農地・農業用施設関係被害		調査中	
小計			調査中	
林野関係	木材加工・流通施設	1件	調査中	京都
	特用林産物施設	1件	調査中	島根
小計			調査中	
関水係	水産関係被害		調査中	
小計			調査中	
合計			13.4	

注1：現時点で県等から報告があったものを記載しており、引き続き調査中。

注2：被害額は、報告のあったものを計上。

5 政府の主な対応

(1) 官邸の対応

- ・情報連絡室を設置（1月13日16:45）

(2) 関係省庁災害警戒会議等の実施

- ・1月13日11:00 平成29年大雪等に係る関係省庁災害警戒会議開催（松本内閣府特命担当大臣、松本内閣府副大臣出席）
- ・1月23日15:00 平成29年強い冬型の気圧配置による大雪等に係る関係省庁災害警戒会議開催

6 各省庁等の対応

(1) 内閣府の対応

- ・内閣府情報連絡室を設置（1月13日16:45、1月23日15:00）
- ・1月12日以降 内閣府防災ツイッター等により、国民への注意喚起を実施

(2) 警察庁の対応

○警察庁

- ・情報連絡室を設置（11月24日）
- ・各都道府県警察に対し、除雪作業中の事故防止に関する注意喚起、市町村への雪崩危険箇所等に係る情報提供、交通管理対策及び大規模な雪害事案に対する的確な対応の実施を指示（12月20日）
- ・1月23日からの大雪に伴い、鳥取県警察において、降雪による車両の立ち往生事案に係る交通整理、警察ヘリによる孤立地区等の状況確認及びヘリテレ映像送信、機動隊等による孤立地区住民の安否確認等を実施
また、関係道府県警察において、除雪時における事故、車両のスタック等の個別の通報に対する対応を実施

(3) 消防庁の対応

- 1月13日13:38 全都道府県に対し「警戒情報 今週末にかけて持続する寒波について」を発出し、対応に万全を期すよう要請
- 16:45 応急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置（第1次応急体制）
- 1月23日12:00 応急対策室にて情報収集体制を強化（対応職員を指定）
- 13:44 全都道府県に対し「警戒情報 明日24日にかけての日本海側を中心とする大雪について」を発出し、対応に万全を期すよう要請

(4) 防衛省の対応

<<自衛隊の災害派遣>>

○鳥取県における大雪に伴う災害派遣

要請日時：平成29年1月24日04:10

要請元：鳥取県知事

要請先：陸上自衛隊第8普通科連隊長（米子）

要請概要：人命救助等

発生場所：鳥取県八頭郡（やずぐん）智頭町（ちづちょう）

撤収要請：平成29年1月24日19:35

活動規模：人員 約55名

車両 約10両

その他 L0人員7名、L0車両3両

(5) 金融庁の対応

- ・1月12日 金融庁災害情報連絡室を設置

(6) 総務省の対応

- ・ 1月13日 16:45 大臣官房総務課に情報連絡室を設置

(7) 農林水産省の対応

- ・ 降積雪期における防災態勢の強化等について農村振興局から通知を发出（平成28年12月21日）
- ・ 降積雪期及び融雪期における山地災害及び林道災害等の未然防止と早期対応等について、林野庁から通知を发出（平成28年12月21日）
- ・ 大雪による園芸作物の被害防止に向けた技術指導の徹底及び農業共済の対応について生産局、経営局から通知を发出（1月10日）
- ・ 大雪及び寒害による園芸作物の被害防止に向けた技術指導の徹底及び農業共済の対応について生産局、経営局から通知を发出（1月12日）
- ・ 強い冬型の気圧配置による暴風、高波等に対する備えと被害報告等について、水産庁から通知を发出。（1月13日）
- ・ 大雪及び寒害による農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底及び農業共済の対応について生産局、経営局から通知を发出（1月20日）

(8) 国土交通省の対応

- 国土交通省災害対策連絡調整会議を開催（1/11 14:00、1/13 14:00、1/23 17:00）
- 大雪に対する国土交通省緊急発表を実施（1/12 18:00、1/23 16:00）
- リエゾン（情報連絡員）派遣【のべ37人・日派遣（1/15～）】
 - ・ 中国地方整備局より広島高速道路公社へ、のべ6人派遣（1/15～1/17）。
 - ・ 中国地方整備局より鳥取県庁及び智頭町へ、のべ6人派遣（1/23～24）。
 - ・ 近畿地方整備局より滋賀県庁へ、のべ2人派遣（1/23～24）。
 - ・ 北陸地方整備局より富山県南砺市へ、のべ23人・日派遣（1/20～）
- 中国地整、近畿地整から広島高速1～4号、鳥取自動車道に除雪トラック等を派遣し、除雪作業を支援
- 富山県南砺市に土砂災害専門家（土木研究所）のべ14人・日を派遣（1/18～）し、助言等を実施
- 北陸地整から富山県南砺市に衛星通信車、照明車、小型画像伝送装置、超高感度カメラを派遣、監視体を制確保
現地の監視映像を富山県、南砺市に配信（1/20～）
- 北陸地整から富山県に遠隔操縦式BH、応急組立橋を派遣準備中（2/8～）
- ・ リエゾンの派遣状況

派遣場所	月日		1														2								合計		
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7		8	
広島高速道路公社	2	2	2	0																							6
滋賀県庁	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0																2
鳥取県庁	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0																4
鳥取県智頭町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0																	2
富山県南砺市	0	0	0	0	0	3	3	3	2	0	2	0	2	0	0	2	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	23
合計	2	2	2	0	0	3	3	3	5	5	2	0	2	0	0	2	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	37

- 災害対策用機械等出動状況

- ・中国地整、近畿地整、北陸地整より、除雪トラック 2 台、凍結防止剤散布装置 1 台、照明車 2 台、遠隔操縦式 BH1 台、応急組立橋 1 橋、衛星通信車 1 台、衛星通信装置 2 台を計 10 台派遣

整備局名	出勤先	出勤理由	機械名	台数	期間
中国地整	高速1～4号線	除雪作業支援	除雪トラック	1	帰還 (1月16日～1月17日)
中国地整	高速1～4号線	除雪作業支援	凍結防止剤散布装置	1	帰還 (1月16日～1月17日)
近畿地整	鳥取自動車道	除雪作業支援	除雪トラック	1	帰還 (1月24日～1月25日)
北陸地整	富山県南砺市利賀村	土砂災害における 状況監視支援	照明車	2	帰還 (1月20日～2月4日) (1月20日～2月8日)
北陸地整	富山県南砺市利賀村	土砂災害における 作業支援	遠隔操縦式 バックホウ	1	出勤準備中
北陸地整	富山県南砺市利賀村	土砂災害における 現地復旧支援	応急組立橋	1	出勤準備中
北陸地整	富山県南砺市上百瀬	地滑監視映像送信	Ku-SAT	1	帰還 (1月20日～2月6日)
北陸地整	富山県南砺市上百瀬	地滑監視映像送信	Ku-SAT	1	派遣中 (1月20日～)
北陸地整	富山県砺波農林振興センター	地滑監視映像送信	衛星通信車	1	派遣中 (1月20日～)

○中国地整は、防災ヘリ「きんき号」による被災状況調査を実施 (1/25)

○雪捨て場としての河川敷地の活用 (1月31日現在)

- ・市町村等から要請を受け、直轄河川で 324 箇所 (約 480 ヘクタール) の河川敷地を雪捨て場として活用。

○土木研究所の対応

- ・土木研究所は、富山県からの要請により土砂災害専門家のべ 14 人・日を派遣し、助言等を実施 (1/18～)

派遣元	派遣先	派遣内容	1											合計
			18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
土木研究所	富山県南砺市	土砂災害調査	3	3	2	2	0	0	0	0	2	2	0	14
合計			3	3	2	2	0	0	0	0	2	2	0	14

(9) 気象庁の対応

- ・記者会見 (1月13日 11:20)
- ・気象庁では、暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報等を発表するとともに、各地の気象台から気象情報等を発表して、警戒を呼びかけている。
- ・気象庁として、引き続き気象状況の把握と情報発信に努める。